

②センターの管理・運営に関する業務

【電話対応・来所者対応・メール対応】

2023年4月～2024年3月相談・問合せ集計

相談・問合せ			電話・来所			カテゴリー		
合計	431		合計	431		合計	431	
相談	129	29.9%	電話	372	86.3%	飼犬	43	10.0%
問合せ	302	70.1%	来所	17	3.9%	飼猫	47	10.9%
			メール	42	9.7%	寄付	43	10.0%
						健康	1	0.2%
						事業	28	6.5%
						施設	11	2.6%
						譲渡	107	24.8%
						野良犬	7	1.6%
						野良猫	89	20.6%
						ボランティア	3	0.7%
						その他	52	12.1%

		電話	来所 (しつけ以外)	メール	相談 件数	問合せ 件数
令和5年	4月	26	1	4	10	21
	5月	24	6	6	18	18
	6月	32	3	5	12	28
	7月	32	1	6	6	33
	8月	33	0	6	14	25
	9月	37	1	2	7	33
	10月	40	1	2	10	33
	11月	23	1	3	9	18
	12月	35	0	0	10	25
令和6年	1月	23	1	1	3	22
	2月	31	1	1	13	20
	3月	36	1	6	17	2
合計		372	17	42	129	278

②センターの管理・運営に関する業務

令和5年4月～令和6年3月までの電話・来所・メールによる相談・問合せ内容

◎飼い犬に関する相談

- ・後期高齢者の方より、夫が亡くなり高齢のシュナウザーを飼っているが、一人で世話は難しくなってきたので、飼ってもらえる人に譲渡してほしい。
- ・未去勢のオスを飼っているが、その後飼ったメス犬に咬みつきにいき、それを止めようとした自分たちも咬まれる。どうしたら良いか。
- ・入院された方の家に犬がいる。預かってもらうか実家まで犬を運んでもらえないか。

◎飼い猫に関する相談

- ・自分の家で飼っている猫を引取ってもらいたい。
- ・母が猫を2匹飼っているが、認知症で施設に入所することになった。自分が猫の面倒を見ようと思っているが、移動の手段がない、どうしたら良いか。

◎野良猫に関する相談

- ・庭に猫が子どもを生んでいる。引き取りしていないか。
- ・地域猫の世話をしているが餌代も上がりやれなくなっている。そちらで世話をして貰えるか。もしくは自分に何かあった場合には面倒みてもらえるか。
- ・子猫を2匹保護した。病院が休みのためどうしたら良いか。

◎譲渡に関する相談

- ・子猫はいるか。
- ・白猫がほしい。
- ・HPに譲渡会とあるが、子犬もいるか。
- ・ところが気になって電話した、譲渡の流れを聞きたい。

◎その他の相談

- ・子どもがコンビニの駐車場で狸の子どもを拾って帰って来てしまった。どうしたら良いか。
- ・道ばたでカラスが飛べなくなっていてうずくまっている。どうしたら良いか。
- ・中央区で犬が迷子とチラシが入っていた。鈴蘭台で目撃情報があったと書いていたが、ここで獣医さんが散歩させている犬に似ているが、その犬ではないか。
- ・西区竹の台で民家の庭にあまりにも痩せ細って骨と皮だけのゴールデンレトリバーがいる。かわいそうなので保護して貰えないか。

飼い犬、飼い猫の相談では、高齢や病気による飼い主の死亡、入院、施設への入所のための引取り相談が過半数を占める。また、季節的なことと言うと野良猫が子猫を産んでいるので引き取って貰いたいという相談も多い。猫に関しては圧倒的に野良猫の相談が多く、相談を受けても共生センターではどうにも対処できないということも多々ある。市民ひとりひとりの課題解決のためには、それに応じたフォローが必要であるため、適切な窓口に繋ぐなど、電話での相談対応についても相談内容を丁寧にお伺いすることで、問題解決の糸口となるよう真摯に対応したい。

②センターの管理・運営に関する業務

《見学・視察対応》

施設や事業の見学・視察依頼が多くあり、所管の環境衛生課と共に対応にあたった。休館日である火曜日のKnotsスタッフ不在時の対応や、神戸市ご関係者への施設案内・事業説明等は、環境衛生課での対応をお願いした。

- ・ 4月22日（土）一般社団法人ネコノタメナラ代表理事大津様来訪
- ・ 4月26日（水）神戸市健康局保健所保健課荻野部長、食品衛生課為国課長、富田係長来訪
- ・ 4月30日（日）ガールスカウト見学
- ・ 5月11日（木）神港橘高校 課題研究見学（財田様）
- ・ 5月26日（金）セラピー研究フィールドアドバイザー土居裕和先生来訪
動物管理センタートライやるウィーク学生来訪
あかし動物センターより2名来訪
- ・ 7月27日（木）北海道紋別市より市議会議員3名来訪
- ・ 7月28日（金）葺合高校生(マツイ様) 職員へインタビュー来訪
- ・ 8月 5日（土）三木東高校生 職員へインタビュー来訪
- ・ 8月 6日（日）千葉県より高校生来訪
- ・ 11月9日（木）兵庫県弁護士会様来訪
- ・ 12月1日（金）公益財団法人福岡県動物愛護センター 業務課長佐野様来訪

【令和6年】

- ・ 1月10日（水）長崎市議会議員様来訪
- ・ 1月28日（日）鹿児島県動物愛護センター様来訪
- ・ 1月31日（水）共同通信社神戸支局白石記者来訪
- ・ 2月19日（月）仙台市動物愛護センター職員様視察
- ・ 3月15日（金）関西国際学園中等部来訪



ガールスカウト様 見学の様子

②センターの管理・運営に関する業務

《取材対応》

各メディアの取材依頼に対して、所管の環境衛生課、譲渡動物の飼養管理を受託されている公益社団法人神戸市獣医師会の皆様と共に対応にあたった。

令和5年 9月24日	(日)	サンテレビ
令和6年 1月21日	(日)	サンテレビ
		NHK総合
1月31日	(水)	共同通信社
3月7日	(木)	神戸新聞
3月20日	(水・祝)	共同通信社

<取材の様子>



令和6年1月21日 サンテレビ



令和6年1月21日 NHK

<専用ウェブサイトで取材情報を配信>

お知らせ

2024.01.22

「防災わんにゃんフェスタ」がテレビで紹介されました

1月21日（日曜）、こうべ動物共生センターにおいて「防災わんにゃんフェスタ」を開催し、テレビ局に取材に来ていただきました。その様子が以下の番組で紹介されました。

1月21日（日曜）18時～ サンテレビ「ニュースSUNデー」

[防災わんにゃんフェスタ ペットと暮らす神戸市民に向けて](#)

1月21日（日曜）18時45分～ NHK総合 ニュース・気象情報（関西）

[神戸 ペット飼っている人の防災対策を考える催し](#)

お時間のある方は、是非ご覧くださいね！

②センターの管理・運営に関する業務

【ふれあい室の開放】

各種プログラム等の事業で使用しないときは、一般市民に向けて開放している。室内での食事は出来ないが水分補給については可能として自由に利用できるようにしているが実利用されていないため、随時、絵本を補充し、事務室に来られた方や犬猫の見学に来られた方に利用の案内を行った。来年度については市民参加型の常設展示を行う等、来所してもらええる工夫を考えている。



ふれあい室の開放中がわかるように、入口に「開放中」と掲示し、利用を呼びかけている。



防災わんにゃんフェスタで展示した資料については常時展示し、市民への啓発に活用した。



主に、動物関連の絵本や小説などが並べられている。誰でも自由に読むことができる。

②センターの管理・運営に関する業務

【専用ウェブサイト】

共生センターの事業については、資料・報告を専用ウェブサイト上で提供し、来所できない市民への利便を図り、国内外への情報発信を行っている。

サイト内では、「こうべ動物共生センター」の事業運営に関するコンセプトの下に、譲渡動物の紹介や教育・啓発・研究に関する教室やプログラムの告知と報告を行っている。

こうべ動物共生センター ウェブサイト <https://kobe-chai.jp>

【サイトの構成】

《こうべ動物共生センターとは》

- ・ こうべ動物共生センターとは？
- ・ セラピー研究フィールドアドバイザー
- ・ 適正飼養アドバイザー会議
- ・ IAHAIOについて
- ・ 事業報告

《一緒に暮らそう》

- ・ わんちゃんの紹介
- ・ ねこちゃんの紹介

《一緒に学ぼう！》

- ・ 和犬教室
- ・ 老犬との暮らし方教室
- ・ 教室実施報告
- ・ 人と動物の共生の歴史
- ・ 5 Freedomsとは？

《一緒に学ぼう! For Kids》

- ・ 獣医師体験プログラム
- ・ 犬とともだちになろう
- ・ いきものといっしょ
- ・ 「いのちの教育」プログラム
- ・ VRで体験！犬猫との暮らし
- ・ 実施報告

《お困りごと》

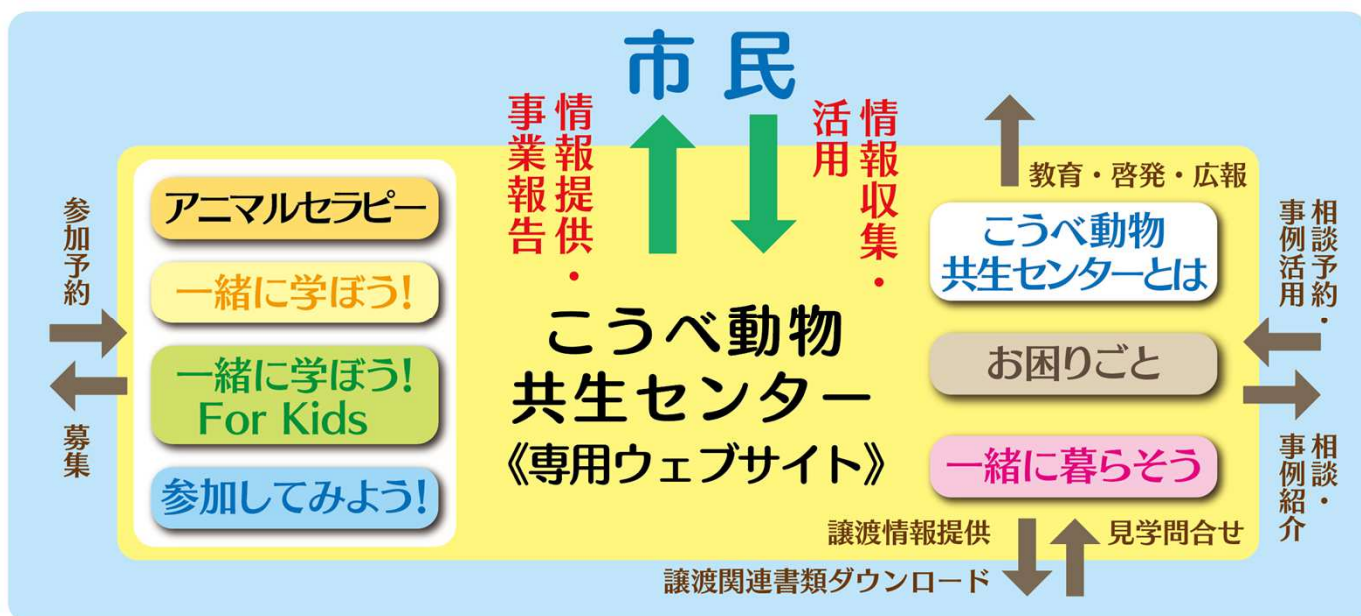
- ・ 来所による相談／子犬のしつけ方相談会
- ・ 獣医師による電話相談（健康相談／問題行動相談）

《参加してみよう!》

- ・ お散歩診断
- ・ 楽しくしつけを学ぼう～ドッグスポーツにチャレンジ!
- ・ 教えて！介助犬
- ・ 実施報告

《アニマルセラピー》

- ・ わんちゃん読書会（R.E.A.D.プログラム）
- ・ わんちゃんお出かけセラピー
- ・ 研究報告



②センターの管理・運営に関する業務

令和3年10月の正式オープンより、情報発信において「こうべ動物共生センター」専用ウェブサイトは大きな役割を果たしており、神戸市内、市外に共生センターの存在意義と事業内容の認知が進んでいる。

令和5年度、**年間アクセス数は107,835（1日平均約300）**。

ウェブサイト上には、《こうべ動物共生センターとは（市民への教育・啓発）》《一緒に暮らそう（譲渡動物の紹介）》《一緒に学ぼう！（大人・子どもが参加できるプログラム）》《お困りごと（市民の相談窓口）》《参加してみよう！（市民参加プログラム）》などワンストップサービスの窓口としての機能が掲載されている。

各事業の実施報告では、実施の様子や相談事例などをわかりやすく掲載している。

このように、専用ウェブサイトはセンターに足を運ぶことができない市民との重要なコミュニケーションツールとなっており、オンラインでの予約制度や情報発信は、行政と市民とをつなぐ「つなぐ」場「市民交流の場」への有用な役割を担っている。

【トップページ（部分）】



②センターの管理・運営に関する業務

【プログラムレポート】

実施した事業の報告は「プログラムレポート」として、実施後速やかにレポートを作成し、環境衛生課の確認後、専用ウェブサイトに掲載している。トップページでは、常に最新のプログラムレポートにアクセスでき、各事業のページにおいても、事業ごとにレポートを確認できるようにしたり、過去の実施報告についても、専用ウェブサイト内の複数のページからアクセスしやすいように工夫している。

各事業のプログラムレポートを市民に見ていただくことは、それぞれの事業内容について知っていただく機会となり、参加申込にもつながっているだけでなく、参加された方がレポートを楽しみに見てくださっているというお声掛けをいただくこともある。

このように、事業の成果を市民にフィードバックすることで、市民ひとりひとりの課題解決につなげ、市民とのコミュニケーションの手段としても重要な役割を果たしている。

プログラムレポート

≡ レポート一覧



令和5年度「わんちゃんお出かけセラピー」(3月27日)

2024.03.27

わんちゃんお出かけセラピー



令和5年度「いきものといっしょ」(3月27日)

2024.03.27

いきものといっしょ



令和5年度「教えて! 介助犬」(3月20日)

2024.03.20

教えて! 介助犬



令和5年度 獣医師体験プログラム「人と共に生きてきた馬について」(3月17日)

2024.03.17

獣医師の世界を体験しよう!

令和5年度「和犬教室」(12月9日)

12月とは思えない暖かな土曜日です。

近藤悦子先生も講師にお招きして「和犬教室」を開催しました。「和犬教室」は、「自尊心旺盛」「眼力」「警戒心が強い」といわれる特性を持った柴犬等の日本犬を対象としたしつけ方教室です。



講師 近藤先生

当日参加の犬は2匹。同じ7ヶ月の子犬です。

まず、自己紹介の後、良い所と困っているところをそれぞれが話し、それを踏まえながら園内の散歩に出ました。

2匹とも人も犬も大好きな子犬ですが、まだまだ子犬のためとても元気、ゲイゲイと引っ張ってしまうそうです。

散歩の途中では、2匹とも同じ月齢ということで2匹で元気に遊びました。

子犬にとって同じような月齢、年齢の犬同士で遊ぶ経験も成長には大切です。

来所できない市民に対する利便を図り、開館時間内外を問わず各種プログラムの参加申込や問い合わせフォームによる相談受付が可能となっている。

事業の参加希望者が開催日程を確認できるだけでなく、実施内容のレポートの掲載を楽しみにしておられる方も多く、何ヶ月先の開催を楽しみにしているという声を数多く耳にする。

また、事業の参加者だけでなく、講師や協力ボランティアなどプログラム提供側も事業の実施レポートを楽しみにして下さっており、参加者と実施者が相互に共通の情報を享受できる場を提供している。

市民に有益で正確な情報を一早くお届けできるよう、引き続き尽力していきたい。

②センターの管理・運営に関する業務

【来所相談の事例報告】

事例レポート 2023.05.31

令和5年度「来所相談」(5月)

実施実績: 5月8日(水曜・祝) 1件

相談犬種: ボーダー・コリー (6ヶ月オス)

「・散歩に出る時、急に興奮し走り回って飛びつくことがある。・飼育環境をどのようにしたら良いか」という内容のご相談。

貴府の家での飼育状況をお聞きし、ボーダー・コリーの犬種の特性をお伝えした上で、アドバイスさせていただきました。ボーダー・コリーは運動量がとても必要な犬種です。

運動が足りていなかったりすることで、ストレスが溜まり異常興奮・暴発行動が出ることもあります。また、まだ6ヶ月の子犬は人間の年齢に換算すると小学生の中学生くらいの発達の時期で、いろいろなことを吸収する時期でもあります。

まず、一緒に室内を歩み散歩の時には、常にリードを短く持ち手を歩かせるのではなく状況を見ながら歩かせるということをお勧めしました。興奮する場合は、散歩に出る前にまず家でボーリング遊びなどで少し落ち着いてから散歩にでもお出かけしました。



何かをするときには必ず「座れ」のコマンドを出してから行うことや、遊びで噛んで来たときなどの対処の方法、家の中でも楽しくストレス発散できる方法や頭を使いながら歩けるノーズワークなども併せてお伝えしています。とにかく好奇心旺盛で運動が大好き、人間が大好きなボーダー・コリーなので、人との生活が楽しめることができれば良いですね。

事例レポート 2023.09.30

令和5年度「来所相談」(9月)

実施実績: 9月6日(水曜)

相談犬種: ラブラドル・レトリバー (10歳オス)

今回の相談は、「飼い主のお母さんがコロナ感染した後、涙をすると泣けてしまう。家でもお母さんのことだけ避け、一緒に散歩に行きたがらない」という内容です。

お話を聞きました後、まずは、一緒に公園を歩いてみました。



ここでは、嫌がるせふりも見せず、タンタンといういろいろな匂いを嗅ぎながらお母さんと一緒に歩いていました。

家直の様子をお聞きし、朝のご飯についてはお父さんがあげているということでしたので、お母さんが朝夕のご飯をあげることにしてみても、再度、産前産後を察してはどうかとアドバイスさせていただきました。犬の嫌がることもしない(嫌がる場所に行かない)なども併せてお伝えしています。

また、今年の夏の暑さは尋常ではなく、散歩に行きたがらないのは気分や季節的なことも影響している可能性もあるため、お母さんの体調が戻り、少し涼しくなり散歩しやすくなるまで様子を見て、それでも散歩に行きたがらない状況が続くようなら、再度ご相談いただくことにしました。

その他、「教育・啓発・研究」の教室・プログラムの実施報告は、本報告書のP.24～89を参照。

毎月2回、しつけや困りごとの相談に対して専門家による来所相談を受けている。個人情報に配慮しつつ、来所相談の様子なども発信することで市民がサイトを通して同様の事例を学ぶことができる。また、来所相談日がわかるように、事務室前など複数の箇所に来所相談の案内を掲示している。

通常の家来所相談に加え、4ヶ月齢までの子犬の「社会化期」の様々な経験が今後の成長に大きく影響してくることを鑑み、今年度も「子犬のしつけ方相談会」を昨年度に引き続いて実施した。日常的に「子犬を飼い始めたがしつけ方がわからない」「トイレトレーニングができない」という相談も入るため、令和6年度は回数を増やして子犬のしつけ方に関する相談会を実施する。各地域でも同じプログラムが受講できるよう、将来的な《こうべ動物共生プラットフォーム》の構築を目指し、プラットフォームに参加する事業者対象の研修として「パピー教室」を開催する準備を進めていきたい。

②センターの管理・運営に関する業務

【譲渡動物紹介】

こうべ動物共生センター
で会えるわんちゃん



メリー ♀
募集中



ジェット ♂
募集中



シェーン ♂
おためし飼育中

こうべ動物共生センター
で会えるねこちゃん



とく ♂
募集中



〇次郎 ♂
募集中



リズム ♀
募集中



むつみ ♀
募集中

譲り受けを希望する方の主な条件（令和5年1月16日から）

- 兵庫県内に在住していること。
- ペット飼育可能な家に居住していること。*
- 申請者が申請日において、18歳以上であること。*
- 犬の飼育に関して、同居家族全員の同意があること。
- 将来引越し、転勤等の可能性があり、犬が飼えなくなる恐れがある場合や単身世帯で動物の飼えなくなった場合に、その犬の飼育を任せられる人がいること。*
- 現在、犬猫合わせて3頭以上飼育していないこと。
- 譲り受ける犬の繁殖制限対策（不妊去勢手術）を行うことに同意すること。
- 現在、犬を飼育している場合は、狂犬病予防法に基づく登録及びその年度の狂犬病予防注射を受けていること。

*の項目に関しては詳細な条件がありますので、以下の案内をご覧ください。

[わんにゃん譲渡制度の案内〔犬〕](#)（PDF）

譲渡の流れ



*申請書等（申請書・確認シート・誓約書）はwebまたはこうべ動物共生センターの窓口で入手できます。必要事項を記入の上、こうべ動物共生センターに提出してください。

申請書等： [PDF](#) [EXCEL](#) 確認シート： [PDF](#) [EXCEL](#) 誓約書： [PDF](#) [WORD](#)

譲渡の詳細な流れにつきましては、[わんにゃん譲渡制度の案内〔犬〕](#)（PDF）をご覧ください。

譲渡犬・猫の紹介ページにおいては、譲渡動物の飼養管理を受託している（公社）神戸市獣医師会のスタッフと情報交換を行いつつ、種別、年齢、体重といった基本情報のほか、性格についても記載している。

また、譲渡動物の状況についても、日常の様子がわかる動画をアップするなど、個体の特徴や情報がより伝わるように工夫をしながらのPRに尽力している。

②センターの管理・運営に関する業務

【《一緒に学ぼう！》人と動物の共生の歴史のページ】

The screenshot shows the website's header with navigation links and a search bar. The main content is titled '人と動物の共生の歴史 HISTORY' and features a sub-section '支配から共生へ～動物園をめぐる人と動物の交流史'. The text discusses the history of zoos, from early collections to modern zoological parks, and the evolution of animal welfare standards. It mentions key figures like the Duke of Devonshire and the development of the 'Five Freedoms' concept. The page is written in Japanese and includes several paragraphs of text.

清水 智樹先生（京都大学高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点（WPI-ASHBi）特定講師・博士（文学））による、人と動物の共生の歴史「支配から共生へ～動物園をめぐる人と動物の交流史」や、国際的な動物福祉の指針である「5 Freedomsとは？」を紹介し、「人と動物の共生」について広く市民が考えることができる内容を紹介している。

The screenshot shows the '5 Freedoms' page, which details the 'Five Freedoms for Animals'. It lists five freedoms: 1. Freedom from hunger and thirst, 2. Freedom from discomfort, 3. Freedom from pain, injury or disease, 4. Freedom from boredom, and 5. Freedom from fear and distress. Each freedom is accompanied by a brief explanation of what it entails for an animal's well-being. The page is written in Japanese and includes a small table at the bottom with the title '5つの自由 - 動物福祉の指針 The Five Freedoms for Animals'.

今後も、国内外の専門家の知見を含めた情報やレポートなどを掲載し、市民ひとりひとりが「人と動物の共生」について考える機会を提供し、共生センターの事業への参加や共生への意識向上のきっかけを与えていきたい。

②センターの管理・運営に関する業務

【犬猫譲渡制度等の補助】

譲渡事業については、譲渡動物の飼養管理（公益社団法人神戸市獣医師会受託）を除く業務のうち、以下の業務を行った。

受付事務の対応において、希望者の方々へわかりやすい説明を心がけた。**申請に関する書類は全てウェブサイトからもダウンロードできるように対応しており、申請書類の郵送希望の方に対しては郵送対応するなど、譲渡希望者の利便を図っている。**

- ・ **譲渡申請書類受付**（センター窓口、メール、郵送、FAXによる対応）

犬猫の譲渡申請希望者に対し、譲渡までの流れと申請書の書き方、添付書類（誓約書・管理規約）の有無、確認シート記入等について説明を行い、記入した書類の確認後、受付印押印し（公社）神戸市獣医師会に引き継ぎ、神戸市動物管理センターに提出した。

- ・ **譲渡見学会受付**（センター窓口、電話、メールによる対応）

犬猫の譲渡申請希望者に対し、犬猫の見学会参加希望日を聞き取り、予約を受け付けた。参加日当日は窓口にて案内業務を行った。譲渡申請希望のない市民に対しても、見学希望があった場合、犬猫譲渡制度について説明を行い、確認シートの記入を行った後、譲渡見学会について案内した。今年度は、5月、6月、3月に午後の時間帯のみ、神戸市動物管理センターでの見学が実施され、共生センターでの見学同様、予約受付を行った。

- ・ **譲渡前講習会受付**（センター窓口、電話、メールによる対応）

犬猫の譲渡申請書類を提出後に神戸市の審査を終え、譲渡可否決定通知書の届いた市民からの講習会受講希望日時を聞き取り予約を受け付けた。参加日当日は会場であるふれあい室のテーブルセッティングやモニターの準備なども行い、案内業務にもあたった。

- ・ **お試し飼育、正式譲渡等の日程調整受付**

譲渡前講習会終了後、譲渡希望者に対してはお試し飼育開始日の相談、正式譲渡希望者には正式譲渡の日程について希望日時を聞き取り、譲渡動物の飼育管理を行っている（公社）神戸市獣医師会と日程調整を行うなどの受付業務を行った。お試し飼育期間の延長等の希望があった場合には希望をお聞きし、（公社）神戸市獣医師会とその都度対応を行った。

②センターの管理・運営に関する業務

【犬猫譲渡制度等の補助】

・ 広報補助

譲渡制度の周知についても専用ウェブサイトは重要な役割を担っており、譲渡制度や譲渡動物の情報を掲載するだけでなく、譲渡動物の情報の更新などもまめに行った。また、神戸市で管理するInstagram、デジタルサイネージに掲載する譲渡動物の写真等の情報提供を行った。デジタルサイネージについては、専用ウェブサイトに掲載されている譲渡動物の情報や参加可能な事業に関するチラシ画像、神戸市人と猫との共生推進協議会のPR動画等を盛り込んだ内容を掲示しており、デジタルサイネージの仕様に合わせたデータ作成も行っている。さらに、人通りが多い事務室前に譲渡動物の写真を掲示、譲渡動物情報のチラシの作成、しあわせの村本館や温泉健康センターにもチラシを置いてもらうなど、より市民に譲渡情報が行き届くように対応している。時間外や休館日も情報を確認できるようにし、多くの来場者に見ていただけるよう工夫している。

譲渡動物一覧



サイネージの譲渡動物情報



今年度より、毎月1回月初に神戸市動物管理センターから（公社）神戸市獣医師会事務局に最新の譲渡動物一覧を送付し、会員病院での掲示等を行うことになった。最新のデータを当法人職員が作成している。



事務室前の譲渡動物情報

②センターの管理・運営に関する業務

【業務従事者関係】

《人員配置》

常勤スタッフ2名、非常勤スタッフ3名で人員配置を行った。平日は2名体制とし、会議日や各事業実施日においては必要に応じて増員し、業務時間内に欠員が生じないようにした。また、各事業実施日においては、当法人のボランティア登録制度を活用し、ボランティアの方々にも「わんちゃん読書会（R.E.A.D.プログラム）」「犬とともにだちになろう」等の事業運営にご協力いただいた。

超短時間雇用については、就労継続支援（B型）事業所の継続利用が可能であることから、当法人の障害者自立支援事業の連携先であるNPO法人おーけすとら・ぴっと就労継続支援（B型）事業所Patch との連携が認められており、Patchと同じ法人の就労継続支援（B型）事業所ころわのの利用者である軽度の知的障害者の方を雇用している。事務室前トイレや共生センターふれあい室等清掃の業務を担当、体調不良による欠勤が一度もなく、丁寧な清掃作業により清潔を保つことができている。

《研修の実施》

業務に従事するスタッフに対し研修を実施し、委託内容に関する技術向上に係るスキル向上に努めた。今年度実施した研修は以下のとおりである。

◎令和5年11月9日（木）「いのちの教育」研修会

奈良県と当法人共催の「いのちの教育」研修会に、共生センター出務者以外のスタッフ全員が参加した。この研修への参加は、共生センターの事業として実施している「いのちの教育」プログラムの実施スキルの向上を目的としている。

奈良県うだ・アニマルパークで開催のこの研修には、全国の自治体職員や教育関係者が参加しており、意見交流の場では、こうべ動物共生センターで実施している「いのちの教育」プログラムについて報告を行った。



《来所者に対する安全管理》

- ・1月26日（金）

神戸市動物管理センターで実施された消火訓練にスタッフが1名参加

- ・2月21日（水）

神戸市消防局が実施する応急手当定例講習会（普通救命コース）をスタッフが1名受講

②センターの管理・運営に関する業務

【しあわせの村の他の事業との連携協力】

◎会議への出席

こうべ動物共生センターは、しあわせの村内の営業施設として、以下の4つの会議への出席が求められている。

①しあわせの村会議

しあわせの村会議とは、村内医療・福祉施設及びしあわせの村運営共同事業体（JV）の代表者により組織し、令和2年度に発足した。神戸市（しあわせの村リニューアル検討有識者会議提言）が目指すソーシャルインクルージョンを村で実現する取り組みに向けた連携と意見交換の場である。上記の委員のほか、営業施設、運営事業者がオブザーバーとして参加しており、Knots（共生センター管理者）もオブザーバーとしてオープン後の令和3年度第2回の会議より出席させていただいている。また、毎月事業開催予定や来場者数等の報告を行っている。

令和5年度は開催されなかった。

②しあわせの村広報部会

しあわせの村広報部会とは、村内医療・福祉施設及びしあわせの村運営共同事業体（JV）、営業施設、運営事業者の主に広報担当者が参加し、しあわせの村全体の広報について検討、意見交換をする会議の場である。Knotsは令和3年度第1回の会議より出席。

令和5年度は開催されなかった。

③しあわせの村営業施設 広報担当者ミーティング

しあわせの村営業施設広報担当者ミーティングとは、村内営業施設の販売促進や集客、広報に特化した内容について、各営業施設の広報担当者が参加し、意見交換をする会議の場である。Knotsは令和3年度第1回の会議より出席。令和5年度は2回開催された。

開催日時	議 題
第1回 令和5年7月3日（月） 13:30～14:30 トリム園地 （見学後、あおぞらアミーゴ内）	1. メンバー紹介 2. 施設見学（トリム園地の新しい遊具、工事状況） 3. 各施設のトピックス、予約状況、イベント開催状況等 4. 入村者アンケート結果説明会 （令和4年度しあわせの村入村者アンケート調査結果報告書 が配布された） 5. 今年度のスケジュール 第1回 7月3日（月） 第2回 下半期（秋～冬）
第2回 令和6年3月28日（木） 15:00～16:00 ジャングル温泉 （見学後、本館・宿泊館7階）	1. 施設見学（営業再開するジャングル温泉） 2. 各施設からのお知らせ 3. 入村者アンケート結果について （令和5年度しあわせの村入村者アンケート調査結果報告書 が配布された）

②センターの管理・運営に関する業務

④しあわせの村まつり実行委員会

しあわせの村内の福祉施設関係団体、近隣地域、ボランティアの参加協力により、広く市民が交流する「しあわせの村まつり」が公益財団法人こうべ市民福祉振興協会職員のみを中心とする実施体制及び企画内容の見直しを図るため、村内全施設の職員等で構成する「しあわせの村まつり実行委員会」が令和2年度に設置された。「しあわせの村まつり」の在り方、今後の方向性等について議論する場であり、Knotsは令和3年度第3回の会議より出席させていただいている。令和5年度は1回開催され、後日出店者説明会も開催された。

開催日時	議 題
第1回 令和5年6月23日（金） 13:30～14:30 （本館・宿泊館7階展望ルーム）	<ol style="list-style-type: none"> 出席者自己紹介 令和5年度しあわせの村まつり（概要）について <ol style="list-style-type: none"> 第33回しあわせの村まつり～村の小さな夏まつり～（概要） 参加意向について（出店・手持ち花火・その他） 今後の予定 <ol style="list-style-type: none"> 出店 <ul style="list-style-type: none"> 出店団体募集案内 6月23日（金） 出店申込締切 7月14日（金） 出店備品等締切 7月31日（月） 手持ち花火 <ul style="list-style-type: none"> 村内施設利用者向け優先枠 一般申込開始 7月21日（金） その他 <ul style="list-style-type: none"> 第2回しあわせの村まつり実行委員会 11月頃
しあわせの村まつり 出店者説明会 令和5年7月18日（火） 13:30～14:30 （野外活動センターあおぞら ミーティング室）	<ul style="list-style-type: none"> 出店日程表の配布 主催者が用意する備品等の説明 出店内容等連絡フォームの提出について 現地確認

◎しあわせの村の事業・イベント等への参加

しあわせの村（公益財団法人こうべ市民福祉振興協会）より御案内を頂いた事業・イベント等については、可能な限り参加させていただいた。

開催日時	事業・イベント内容
令和5年8月28日（月）／9月16日（土） 17:00～20:00 （野外活動センターあおぞら周辺）	第33回しあわせの村まつり～村の小さな夏まつり～公益社団法人Knotsとして出店し、こうべ動物共生センターの事業PR等を行った。
令和5年10月1日（日） 10:00～15:00 （温泉健康センター体育館）	第34回こうべ福祉・健康フェア こうべ動物共生センターとして出展し、防災関連の展示、啓発活動を行った。
令和5年12月14日（木） 10:30～11:00 （しあわせの村本館・宿泊館エントランスホール）	第12回 こころのアート展 オープニングセレモニー 選考委員の講評・解説を聞き、作品巡覧を行った。

②センターの管理・運営に関する業務

◎ローンボウルズ場の多目的利用

令和5年度の共生センターの事業では「楽しくしつけを学ぼう～ドッグスポーツにチャレンジ！」でサブコート（練習場）の年間利用を申請していたが、今年度は天候などの理由により利用はしなかった。

◎温泉健康センター体育館での事業実施

「第34回こうべ福祉・健康フェア」

主催：公益財団法人こうべ市民福祉振興協会／社会福祉法人神戸市福祉協議会／ふれあいのまちKOBЕ・愛の輸血運動推進委員会／神戸市教育委員会／一般社団法人神戸在宅医療・介護推進財団

10月開催の「第34回こうべ福祉・健康フェア」において、災害時のペットとの同行避難についての啓発や避難場所情報や避難グッズの展示、「ペットとの避難マップ」作成への参加・募集を呼びかけた。

今後もしあわせの村内でのイベントとのコラボレーションをして、共生センター以外の場所での事業実施を進めていきたい。

